

(様式 1 - 5)

昭和村 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 7 年 1 月 9 日時点

※本様式は 1 - 3, 1 - 4 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	1	事業名	昭和村からむし織情報発信事業		事業番号	A-1
事業実施主体			昭和村	総交付対象事業費	39,736 千円	
既配分額			19,969 千円	当該年度交付対象事業費	19,767 千円	
経費区分ごとの費用						
一 地域の魅力向上・発信事業①情報						
①情報発信事業						
小計 19,767 千円						
i) 風評動向調査						
千円						
ii) 体験等企画実施						
18,267 千円						
iii) 情報発信コンテンツ作成						
1,500 千円						
iv) ポータルサイト構築						
千円						
②外部人材活用						
小計 千円						
i) 企画立案のための外部人材の活用						
千円						
ii) 地域の語り部の育成						
千円						
二 関連施設の改修						
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修						
千円						
風評の払拭に関する目標						
令和 8 年度における「からむし織」関連製品の販売額 1,719 万円						
(H22 年度の売上高【1,563 千円】の 110% 奥会津昭和村振興公社決算資料に基づく)						
事業概要						
事業実施主体			昭和村			
主な企画内容			①本村及び「からむし織」の海外での情報発信イベントの実施 ②県外における「からむし織」の魅力発信PRイベントの実施 ③からむし製品PR事業(冊子・WEB制作)			
主な事業の実施場所			①台湾、アメリカ(カリフォルニア、ニューヨーク) ②広島県、東京都 ③国内			
事業の実施期間			令和 6 年 4 月～令和 8 年 3 月			
企画内容						
【現状・課題】						
<現状>						
東日本大震災により、「からむし織」を中心とする本村の製品についても売上等が回復しておらず、本村への来村やからむし織を中心とする本村製品の購入を控える等の風評が根強く残っている。						
特に、ALPS 処理水の海洋放出により、海外や県外での本村を含む福島県への風評の継続が懸念されるところであり、令和 6 年度に実施した県外でのイベントの際にも来場者から福島の原子力災害のことや ALPS 処理水に対する懸念の声が聞こえた。						
※H22 年度 「からむし織」関連製品売上高 15,631 千円						
R4 年度 「からむし織」関連製品売上高 14,048 千円 (R5 年度 14,016 千円)						
<課題>						
昭和村は農業以外に主だった産業がなく、経済産業省の伝統工芸品にも指定されている「からむし」関係の製品(着物、布、関連小物、「からむし」の葉を入れたうどん等の食品など)の販売が大きな産業の柱になっている。本村の復興のためには、「からむし」関係の製品の魅力を海外・県外に発信し、産業を回復させることが必要不可欠である。						

このため、令和6年度実施した事業の課題を踏まえ、海外・県外において本村や「からむし織」製品の魅力を伝えるとともに、昨年度調査したニーズを踏まえ「からむし織」の魅力をPRしながら、本村の柱となる産業を回復していく必要がある。

【課題に対するこれまでの取組と成果等】

＜課題に対するこれまでの取組＞

- ①海外において「からむし」の生産過程を含め、「からむし織」について知られていないため、海外向けの情報発信を行った。
- ②着物などの大消費地や織物などにゆかりのある地域や会場で「からむし織」の魅力を伝えるイベントを開催した。
- ③風評が残る中、県外・海外での製品ニーズを把握する必要があるため、からむしの新たな魅力を把握するため、ニーズ調査を行った。

＜これまでの取組における成果＞

- ①海外向けのWEBサイト（英語・中国語）構築し、「からむし」の生産過程を含め、「からむし織」の情報発信を行うとともに、台湾において本村及び「からむし」のPRを行った。
- ②「からむし織」の魅力をPRするため、京都（有斐斎弘道館）、沖縄（宮古島市産業祭）、東京（大丸東京店）においてイベントを開催し、多くの人に来場をいただき、本村及び「からむし」の魅力を伝えることができた。
- ③「からむし」の新たなニーズを把握するため、繊維関連事業者や大学、先進的な取組を行う工芸品事業者を訪問・調査した。
また、当該調査の中でふるさと納税を活用して、商品の購買につなげ、直接的に事業者の支援を行うとともに、ふるさと納税による収入を活用して工芸品を支援する事業について情報を収集することができた。

＜目標達成状況＞

* 令和6年度開始事業のため、現時点では今年度売上高の数字無し

- ①台湾でのイベントを開催する中で、「からむし」の生産過程について丁寧に説明することができ、台湾の皆さんの理解を得ることができた。台湾でも原住民の方が「からむし」と同じような繊維を製造していることもあり、日本の「からむし」に対する共感が高く、「からむし織」を残すために協力したいとおっしゃっていただけの方が多くいらっしゃった。
台湾でのPRは効果があることを実感したため、令和7年度も台湾において「からむし織」のPRを継続的に実施する必要がある。

また、円安等を背景として、インバウンド需要が高まるなど、海外において日本への関心の高まる中、海外において本村及び「からむし織」をPRする価値は高まっている。令和6年度の調査事業の中で、アメリカで日本の工芸品のセレクトショップを営む事業者と接点が生まれたことから、令和7年度は、アメリカにおいて、本村及び「からむし織」関連製品のPRを行う必要がある。

- ②県外でのイベントでは、からむしの手作りの生産過程を丁寧に説明し、すべての会場において来場者から好評を得て、本村と「からむし織」について、県外にお住まいの方々の理解を深めることができた。
令和6年度のイベントにおいては、令和6年度に調査を行ったニーズを踏まえ、新たな魅力を創出しながら、からむし製品を展示PRすることにより、本村及び「からむし織」の新たな魅力をPRする必要がある。
- ③令和6年度の調査の中で、工芸品の振興支援のため、ふるさと納税を活用して、工芸品の販売につなげるとともに、ふるさと納税で得た財源を工芸品の新製品開発の支援としている取組があった。
令和7年度は当該取組を参考に、「からむし製品」をふるさと納税の商品を冊子やWEBを製作してPRするとともに、当該財源を活用して当事業で行ってきた事業を継続的に実施するための財源とする必要がある。

【今年度事業における具体的な取組内容】

1 海外向け情報発信事業

実施期間：令和7年6月～令和8年2月

実施体制：昭和村、奥会津昭和村振興公社、委託事業者

実施場所：台湾、アメリカ（カリフォルニア、ニューヨーク）

概算費用：11,005千円

実施内容：令和7年度は、令和6年度に実施した台湾向けPRに加え、米国でもPR活動を行う。

① 台湾におけるPRイベント（11月実施予定）

令和6年度に実施した台湾でのイベントの結果を踏まえ、今年度は台北のギャラリーなどを会場に、本村及び「からむし織」をPRするイベントを5日間にわたり実施する。

また、本事業のPRのため、台湾のインフルエンサー3名（予定）を活用してSNSで情報発信を行うほか、現地Webメディアとタイアップしてイベントの記事を掲載してもらうなど当イベントへの関心を高めながらイベントを開催し、本村及び「からむし織」の魅力を発信する。

（SNSストーリー記事10本、写真10枚前後を予定）

② 米国向け情報発信

令和6年度に実施した調査事業の中で、米国カリフォルニアでセレクトショップを営む事業者と接点が生まれたことから、現地のニーズを踏まえながら展示内容を企画し、本村及びからむし織製品の魅力を米国においてPRする。

○カリフォルニアでの展示・販売（10月～12月、3か月程度を予定）

今回イベントを委託する予定の事業者の店舗において、本村やからむし織の紹介を行ってもらうとともに、からむし製品を展示・販売してもらうことにより、本村及びからむし織製品の魅力を海外で発信する。

○ニューヨークにおけるイベント参加（実施時期未定）

からむし織のPRに適したポップアップイベント（国内の東京ビッグサイトで開催されるギフトショーのような、2～3日間で行われるイベントを想定）において、本村とからむし織の紹介を行ってもらうとともに、からむし織関連製品を出展することにより、本村及びからむし織製品の魅力を海外で発信する。

* 予算内で適したイベントが見つからない場合は、委託予定事業所のニューヨーク店舗で実施することを検討する。

2 県外における本村および「からむし織」魅力発信事業

実施期間：令和7年6月～令和8年2月

実施体制：昭和村、奥会津昭和村振興公社、委託事業者

実施場所：東京都、広島県

概算費用：7,262千円

実施内容：令和6年度に実施した結果を踏まえ、県外（東京都、広島県）でPRするイベントを実施する。

○広島県におけるイベント（9月頃実施予定）

R6年度は沖縄・京都・東京で実施したが、これまで実施してこなかった地域の中で、外国人などが多く訪れる広島県において、9月頃に5日間程度（会場は尾道のギャラリーを想定）からむし織の新たな魅力を紹介する展示を企画し、本村及びからむし織の魅力を発信するイベントを開催する。

○東京都におけるイベント（2月頃実施予定）

東京都でのイベントは、令和6年度及び令和7年度の事業成果を発表するイベントと位置づけ、令和6年度の情報発信事業や台湾イベントなどの受託事業者の協力を得て、インフルエンサーによるSNS等の発信やマスコミ等へのプロモーションを実施する。

開催場所は都内のギャラリー等（九段ハウスを想定）とし、5日間程度開催する。本イベントでは、昭和村の魅力を総合的にPRするため、当事業で創出したからむしの新たな魅力を紹介するとともに、これまでのからむし織の製品の展示やからむしの織・糸績みの実演のほか、実施が可能であれば昭和村の食なども紹介する。

3 からむし織 PR 事業

実施期間：令和7年8月～令和8年1月

実施体制：昭和村、奥会津昭和村振興公社、委託事業者

概算費用：1,500 千円

実施内容：からむし織製品のクオリティーの高さを伝えるふるさと納税向けのPR冊子を製作するほか本村のふるさと納税のWEBサイトに新たなからむし織製品を紹介するページを製作し、様々な機会をとらえ本村及び「からむし織」をPRするとともに、ふるさと納税の財源を「からむし」の振興に充てることにより、当交付金が終了した後も、本村及び「からむし織」のPR事業を自走できるようにする。

【今年度事業における目標】

<アウトプット>

- ①台湾及び米カリフォルニア・ニューヨークにおいて、本村及び「からむし」をPRするイベントを開催する。
- ②県外3か所（東京都、広島県）でイベントを実施
- ③からむし製品のふるさと納税としてPRするため、冊子・WEBを製作する。

<アウトカム>

- ①海外におけるイベントの来場者数 1,000人以上
- ②県外におけるイベントの来場者数 1,000人以上
- ③からむし織ふるさと納税WEB閲覧者数 1,000人以上

【今年度、事業の実施により得られる効果】

- ①海外向において、本村及び「からむし織」の認知度を上げるとともに、そのクオリティーの高さを認識してもらい、継続的に当村への訪問や「からむし織」の購買につなげる。
- ②新たな「からむし織」の魅力を発信するイベントを開催することにより、これまでの「からむし織」製品を購入していただいている着物愛好家等に加えて、外国人や若者など新たな層に「からむし織」を認知していただく。
- ③からむし織製品をふるさと納税の対象に加えてPRすることにより、本村及び「からむし織」のPRにつなげるだけでなく、ふるさと納税を活用して得た財源により継続的な「からむし」のPR事業実施につなげていく。